

2024 年度スポーツ予防医学研究会

日 時：9月22日（日）午後6時より

会 場：仙台国際ホテル 4階 広瀬（仙台市青葉区中央4-6-1 TEL022-268-1111）

座 長：高原 政利 先生（泉整形外科病院 院長）

シンポジウム：『傷病対策と競技力向上の両立 ～テニス大好きシニア整形外科医に聞く～』

シンポジスト：別府 諸兄 先生（公益財団法人日本股関節研究振興財団）

麻生 邦一 先生（麻生整形外科クリニック）

加藤 悌二 先生（かとう整形外科光の森）

西井 章裕 先生（北九州市立医療センター）

岩重 浩一 先生（北九州古賀病院）

抄 録： テニスは最も平均余命を延長（9.7年）させるスポーツと報告されている。しかし、シニアテニス選手の身近にはプレー継続困難となるような危険な傷病（テニス肘、肩腱板断裂、手関節障害、変形性膝関節症、椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、足関節障害、骨折や脱臼などの外傷、さらには心・肺の疾患、熱中症など）が沢山ある。傷病を抱えて悩んだ挙句に、大好きなテニスを断念せざるをえないシニアが少なくない。

一方、傷病を乗り越え、予防しながら、コートで躍動しているのが、本会会員の医師達である。今回はシニア整形外科医5名がシンポジストとなり、自らの『傷病対策』および『競技力向上』のための体験を中心に、日頃の習慣や平均的な1週間の日課などを紹介する。シンポジスト5名5様の毎日の過ごし方を鑑みて、聴衆とディスカッションを行う。

本シンポジウムはシニアテニス選手が『傷病を自分で治す』、『健康は自分で守る』ことに多くの示唆を与えるのみならず、『競技力をさらに向上』させ、『より楽しくテニスをプレーする』ための道標になると考える。

取得単位：日医健康スポーツ医再研修 1単位

日医生涯教育制度 1単位 カリキュラムコード：57. 外傷